

レブリン酸
活性セラチン*

チオ乳酸
システアミン

酸熱×ストレート

ダブル作用でやさしく、しっかり。 等電点ストレート、誕生!!



髪の間電点は pH4.5~5.5

HIPS Formula (等電点処方)
Hair Isoelectric Point Straight

等電点でストレート施術を行うということは、髪が健康で、一番安定した状態で施術を行うということ。髪がプラスでもマイナスでもないの、レブリン酸などの主要成分が、イオン吸着することなく髪の内部まで入って、酸熱の作用とかつ弱いストレートの作用でクセ毛をストレートにします。

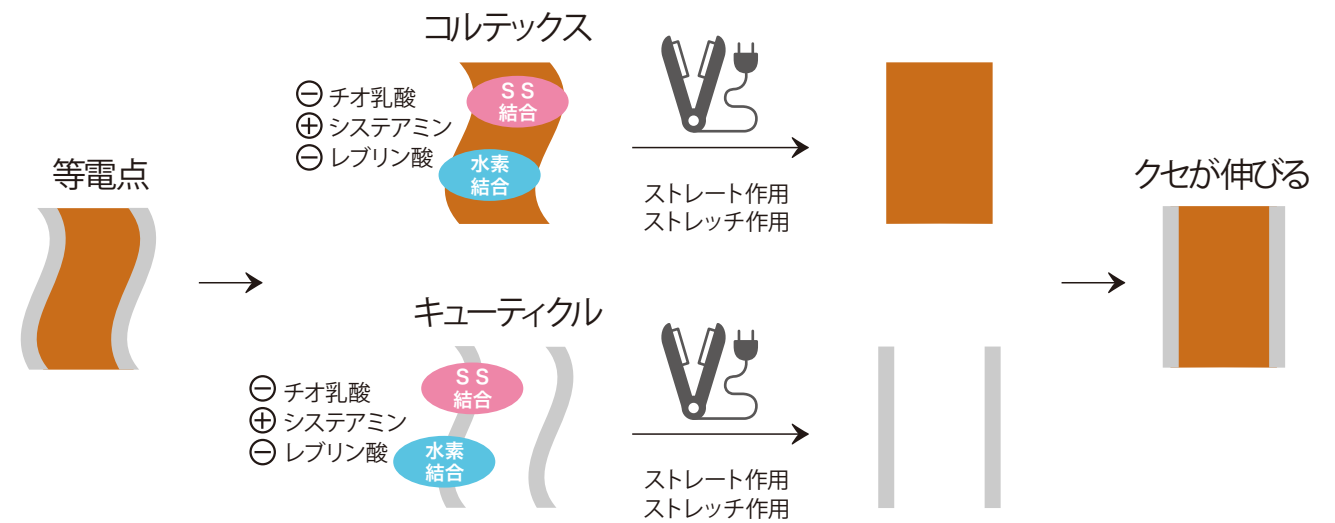
「等電点ストレート」の特徴は

アルカリによる膨潤・軟化がないから ダメージが少ない

膨潤・軟化 無し	ダブルの 作用	アルカリ 不使用	グリオキシル酸 不使用
失敗が少ない	しっかり伸ばす	根元が潰れない	ツヤ・手触りよし
熱で浸透促進するので塗布中、作用が進まないビビる心配が少ない	アイロンストレート作用とレブリン酸による酸熱のダブルの作用で髪を強化	ノンアルカリだから膨潤・軟化しないためエイジング毛に適している	ノングリオキシルなので臭くなく、堅くならないヘアカラーの褪色も少ない

*カルボキシメチルシステインリン、加水分解セラチン(羊毛)

等電点ストレートの仕組み



基本の施術プロセス

前処理
中間処理は不要

テクニック
動画を見る →

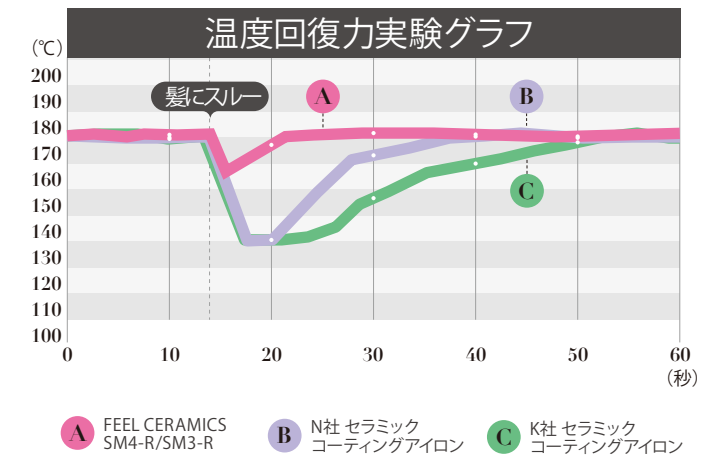


- 1液塗布: シャンプーした後、『KIWAMI-3 C/B LAα』を、1~2cmスライスで根元に丁寧に塗布した後、中間から毛先までいっきに塗布。
- 加温: 15~20分加温。
ホットキャップ→15~20分
遠赤→60°C/15~20分
スチーマー→45~50°Cスチーム
少/15~20分
- 水洗: 水洗し、タオルドライ。
- ドライ&アイロン: 髪全体に18-MEA、エルカラクトン配合の『クリアメイクピース2』を塗布し、1~2割ドライしてテンションを軽くかけて乾かす。その後、190°Cをキープしてアイロンスルー。レブリン酸が定着。
- 2液塗布 & 放置: 『KIWAMI-3 C/B LAα2』を塗布して、20分自然放置。
- 後処理: 水洗後、髪全体にCMCTリートメント『クリアメイクピース3』を塗布する。

新生部・クセ部	既処理部
LAα	LA, LA:LAα = 1:1

アイロンの温度変化も重要なポイント!

酸熱トリートメントやアイロンストレートにおいて、施術中にアイロンの温度が一定でない場合、仕上がりが持続性に大きな差が出てしまいます。



上のデータは、同条件の毛束にA~Cの3つのアイロンをスルーしたときのアイロンプレートの温度変化。グラフは、縦軸が温度で横軸が時間を表している。180°Cまで上げたアイロンが毛束に接触したときに下がった温度と、一度下がった温度が180°Cまで戻る時間を測定。A~Cの3つではバラつきがあることがわかる。